八戸工業高等専門学校					開講年度	令和03年度 (2	.021年度)	授業科目	科学技術	社会論(00	81)	
科目基礎	情報						_					
科目番号		40	C04				科目区分	一般 / 必修				
授業形態		講	義				単位の種別と単位数 履修単位:		位: 1			
開設学科		1	業シス ス	テムコ	T学科マテリアル・バイオ工学コ		対象学年	4				
開設期前期							週時間数 2					
				『科学	学哲学への招待		、デカルト『方法序説』ちくま学芸文庫					
担当教員		-	川 武彦				() /3/VI					
到達目標	į			,								
科学・技術	iと社会との	 関わ 見を	りや、 、 専門	 その均 外の作	 竟界領域の問題 地者にわかりも		 、主体的な判断が できるようになる		る。			
ルーブリ		.,,,,,,	. (313	71-21		,	<u> </u>	<u> </u>				
,,,,,,					想的な到達レ	ベルの目安	標準的な到達レベルの目安		未到達レ	ベルの目安		
				科:	学的合理性、	論理力、批判力を ける	科学的理解とその限界について相対的に認識することができる		相 科学を盲根拠なく	科学を盲目的に信じる。あるいは 根拠なく懐疑的な見方をする。		
					学・技術と社会	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	科学・技術と社会の関わりに生じ 科学			・技術と社会の関わりに生じまざまな問題を理解できてい		
学科の到	達目標項	目と	上の関		111111111111111111111111111111111111111		<u> </u> C U		1.0.0			
ディプロマ地域志向の		P1	◎ ディ	プロマ	マポリシー DP	P5 O						
教育方法												
【開講学財 科学技術社 ・ 具体的リ				社会論 には、 科学技	引】春~夏学期 週2時間 会論(STS)とは、科学・技術と社会との関わりや、その境界領域の問題について考える学問分野である には、科学技術が社会に及ぼす影響と技術者の社会的責任(工学倫理、技術者倫理)、科学技術コミュニケー 学技術リテラシー、環境問題にみられる科学と政策決定の規範(環境倫理)などのテーマをとりあげ、課題 倫理観を深めていく。							
授業の進め	方・方法	春	学期(平川担		ヒ・工学倫理・技術	皆倫理、夏学期(沒	河村担当)は科	学技術リテラ	シーと環境倫	理を主たる	
 注意点		授		け身て		ではなく、積極的かで	つ協調性を持った	参加態度が求め	られる。自主	探究的に自分 [・]	で調べる課	
授業の属	性,履修											
	<u>ロエー/接げ</u> ィブラーニ		7671		ICT 利用		□ 遠隔授業対応		□ 宝教组	 経験のある教員	まに トス哲学	
	1 <i>77</i> —				ICI AIM			,		上州大 () () () () ()	SICO OIXX	
授業計画												
1又未可四		週	1	授業区				 週ごとの到達E				
						支術社会論とは		廻こ この判理に	1保			
		1週				111111111111111111111111111111111111111						
				近代科学の成立(平川)								
		2週										
		3週		大学の	と科学の発展	(平川)						
	1stQ	3週 4週		大学。 現代社	と科学の発展 社会と科学技術	(平川) 桁の発展(平川)						
		3週 4週 5週		大学。 現代社 科学技	と科学の発展 社会と科学技術 技術と現代社会	(平川) ドの発展(平川) 会の関係(平川)						
		3週 4週 5週 6週		大学。 現代社 科学技 科学技	と科学の発展 社会と科学技術 支術と現代社会 支術と倫理(1)	(平川) 桁の発展(平川) 会の関係(平川) (平川)						
		3週 4週 5週 6週 7週		大学。 現代社 科学技 科学技 科学技	と科学の発展 社会と科学技術 支術と現代社会 支術と倫理(1) 支術と倫理(2)	(平川) 術の発展(平川) 会の関係(平川) (平川) (平川)						
前期	1stQ	3週 4週 5週 6週 7週 8週		大学 c 現代花 科学技 科学技 科学技 春学基	と科学の発展 社会と科学技術 支術と現代社会 支術と倫理(1) 支術と倫理(2) 期まとめ(平)	(平川) おの発展(平川) 会の関係(平川) (平川) (平川)						
	1stQ	3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週		大学。 現代社 科学技 科学技 科学技 春学期 水俣和	と科学の発展 社会と科学技術 支術と現代社会 支術と倫理(1) 支術と倫理(2) 朝まとめ(平) あの科学技術者	(平川) おの発展(平川) 会の関係(平川) (平川) (平川) 川) 社会論(河村)	++1					
	1stQ	3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	司	大学。 現代社 科学技 科学技 科学技 春学技 水保郷	と科学の発展 社会と科学技術 支術と現代社会 支術と倫理(1) 支術と倫理(2) 朝まとめ(平月 あの科学技術を 温暖化問題の利	(平川) がの発展(平川) 会の関係(平川) (平川) (平川) (平川) 川) 社会論(河村) 科学技術社会論(河	/					
	1stQ	3週 4週 5週 6週 8週 9週 10週 11週	H01	大学。 現代社 科学技 科学技 科学技 本 大 (長) (現)	と科学の発展 社会と科学技術 支術と現代社会 支術と倫理(1) 支術と倫理(2) 朝まとめ(平) 丙の科学技術社 温暖化問題の科 カエネルギーの	(平川) 術の発展 (平川) 会の関係 (平川) (平川) (平川) 川) 社会論 (河村) 対学技術社会論 (河の の科学技術社会論①	(河村)					
前期	1stQ	3週 4週 5週 7週 8週 9週 10週 11週 12週	HO HO HO	大学。 現代社科学技科学技术 科学技术 を表現る。 現代社会 、	と科学の発展 社会と科学技術 支術と現代社会 支術と倫理(1) 支術と倫理(2) 期まとめ(平) あの科学技術社 温暖化問題の科 カエネルギーの	(平川) ボの発展(平川) 会の関係(平川) (平川) (平川) 川) 社会論(河村) 科学技術社会論(河 の科学技術社会論①	(河村)					
前期	1stQ 2ndQ	3週 4週 5週 7週 8週 10週 11週 12週 13週	HD] HD] HD]	大学。 現代社科学技科学技科学技术 を表示を表示を表示。 現代社会 は、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般で	と科学の発展 社会と科学技術 支術と開理(1) 支術と倫理(2) 朝まとめ(平) 病の科学技術社 温暖化問題の科 カエネルギーの 支術リテラシー	(平川) ボの発展(平川) 会の関係(平川) (平川) (平川) 川) 社会論(河村) 科学技術社会論(河 の科学技術社会論① の科学技術社会論② - (河村)	(河村)					
前期	1stQ 2ndQ	3週 4週 5週 6週 9週 10週 11週 12週 13週 14週		大学, 現代社科学, 科学, 科学, 科学, 大学, 大学, 大学, 大学, 大学, 大学, 大学, 大学, 大学, 大	と科学の発展 社会と科学技術 支術と現代社会 支術と倫理(1) 支術と倫理(2) 期まとめ(平月 あの科学技術 温暖化問題の科 カエネルギーの 大が、対している。 マ学習(河村)	(平川) ボの発展(平川) 会の関係(平川) (平川) (平川) 川) 社会論(河村) 科学技術社会論(河 の科学技術社会論① の科学技術社会論② - (河村)	(河村)					
前期	1stQ 2ndQ	3週 4週 5週 6週 7週 9週 10週 11週 12週 13月 14週 15週		大学, 現代社科学, 科学, 科学, 大学, 大学, 大学, 大学, 大学, 大学, 大学, 大学, 大学, 大	と科学の発展 社会と科学技術 支術と現代社会 支術と倫理(1) 支術と倫理(2) 朝まとめ(平月 あの科学技術 温暖化ルルギーの 支術リテラシー 支術リアラシー 支術対験	(平川) がの発展(平川) 会の関係(平川) (平川) (平川) 出) 社会論(河村) 対学技術社会論(河) の科学技術社会論① の科学技術社会論② ー(河村)	(河村)					
前期	1stQ 2ndQ	3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10級 11級 13級 14級 15級 16級		大男代科科科春水地原科テーションの一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の	と科学の発展 社会と科学技術 支術と偏理(1) 支術と倫理(2) 朝まとめ(平) 肉の科学技術 温暖化問題の科 カエネルデラシー マ学習(河村) 夏試験	(平川) がの発展(平川) 会の関係(平川) (平川) (平川) 川) 社会論(河村) 科学技術社会論(河の科学技術社会論① の科学技術社会論② 一(河村)	(河村)					
前期	1stQ 2ndQ	3週 4週 5週 6週 8週 9週 10週 11週 12週 14週 15週 14週 16週	動動動動動動力を	大男代科科科春水地原科テーションの一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の	と科学の発展 社会と科学技術 支術と偏理(1) 支術と倫理(2) 期まとめ(平) 病の科学技術 温暖化がません。 カエネルギーの 支術と関 すが、対策というでき 対策 大学習(アリア) を対しています。 大学習(アリア) を対しています。 大学習(アリア) を対しています。 大学習(アリア) というなが、対策というない。 大学と対 はいたが、対策というない。 大学の発展 に対象というない。 というない。 というないは、 というない。 というない、 というない。 というない。 というない。 というない。 というない。 というない。 というない。 というない。 というない。 というないい。 というないい。 というないい。 というないい。 というないい。 というないい。 というないいい。 というないいい。 というないいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	(平川) 病の発展(平川) 会の関係(平川) (平川) (平川) 川) 社会論(河村) 科学技術社会論(河の科学技術社会論① の科学技術社会論② ー(河村)	(河村) (河村)					
前期	1stQ 2ndQ	3週 4週 5週 6週 9週 10返 11返 14返 15返 16返 16返	型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型	大現科科科春水地原原科テ到ふ学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学	と科学の発展 社会と科学技術 支術と偏理(1) 支術と倫理(2) 期まとめ(平) 病の科学技術 島暖化ルルギーの 支術学習(ア) を対対した。 対エネルテラ河村) 変対対験 かえらとま到達 学習内容	(平川) ボの発展(平川) 会の関係(平川) (平川) (平川) 出) 社会論(河村) 科学技術社会論(河の科学技術社会論① の科学技術社会論② ー(河村) は同様 世間標	(河村) (河村)			到達レベル	授業週	
前期	2ndQ アカリキ	3週 4週 5週 6週 7週 9週 10減 11減 12減 14減 15減 16減	<u></u> <u></u> <u></u> <u></u> <u></u> <u></u> <u></u> <u></u> <u></u> <u></u> <u></u> <u></u> 	大現科科科春水地原原科テ到ふ学・サージでは、サイン・サージをは、サージを	と科学の発展 社会と科学技術 支術と偏理(1) 支術と倫理(2) 期まとめ(平) 病の科学技術 温暖化学技術 出場のを表して、表別では、表別では、表別では、表別では、表別では、表別では、表別では、表別では	(平川) 病の発展(平川) 会の関係(平川) (平川) (平川) 川) 社会論(河村) 科学技術社会論(河の科学技術社会論① の科学技術社会論② ー(河村)	(河村) (河村)	≛ る。		到達レベル 3	授業週	
前期	1stQ 2ndQ	3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 11週 12週 13月 14週 15月 16月 15月 16月	<u></u>	大現科科科春水地原原科テ到ふ学・サグライン・サイン・サイン・サイン・サイン・サイン・サイン・サイン・サイン・サイン・サ	上科学の発展 社会と現代社会 支術と場理(1) 支術と倫理(2) 期末の科学技術 表術ととの学技術 表明ととの学技術 はいれている。 大学習の大学習のといる。 「大学習の大学習のでする。」 「大学習のでする。」 「大学習のでする。」 「大学習のでする。」 「大学習のでする。」 「大学習のできる。」 「大学の発展」 「大学の表現できる。「大学の表現できる。「大学の表現できる。「大学の表現できる。「大学の表現できる。「大学の表現できる。「大学の表現できる。」 「大学の表現できる。「大学の表現できる。「大学の表現できる。」 「大学の表現できる。「大学の表現でものできる。「大学の表現でものま	(平川) ボの発展(平川) 会の関係(平川) (平川) (平川) 出) 社会論(河村) 科学技術社会論(河の科学技術社会論① の科学技術社会論② ー(河村) は同様 世間標	(河村) (河村) (河村) 票 宿について説明でる		న <u>.</u>		授業週	
前期	2ndQ アカリキ 自然科学 人科学	3週 4週 5週 6週 7週 8週 10 11 12 13 14 15 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16	<u></u> <u></u> <u></u> <u></u> <u></u> <u></u> <u></u> <u></u> <u></u> <u></u> <u></u> <u></u> 	大現科科科春水地原原科テ到ふ学・サグライン・サイン・サイン・サイン・サイン・サイン・サイン・サイン・サイン・サイン・サ	と科学の発展 社会と科学技術 支術と偏理(1) 支術と倫理(2) 期まとめ(平) 病の科学技術 温暖化学技術 出場のを表して、表別では、表別では、表別では、表別では、表別では、表別では、表別では、表別では	(平川) 病の発展(平川) 会の関係(平川) (平川) (平川) (平川) 出) 社会論(河村) 対学技術社会論(河の科学技術社会論① の科学技術社会論② 一(河村) は何村) は何村) は何村) は何村) は何村)	(河村) (河村) (河村) 震福について説明でる。 、原因と対策に 果題に関する適切が の人々が協調し共存	ついて説明でき は主題を設定さ り討論したりす できる持続可能	 せ、資料を活 るなどの活動	3	授業週	
前期 モデルコ 分類	2ndQ アカリキ 自然科学 人科学	3週 4週 5週 7週 8週 10 11 12 13 14 15 16 16 2 4	<u>園</u>	大現科科科春水地原原科テ到ふ学(サグイ) 倫学代学学学保球子学学 連り習 イエー 理	上 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	(平川) 「「中川) 「中川	(河村) (河村) (河村) (河村) 震 宿について説明でる。 気、原因と対策に 果題に関する述し共存 しなががの観点から に会科学の観点から 責任、リスクマネ	ついて説明でき は主題を設定さ り討論したりす できる持続可能 衰望できる。 ジメントなど、	せ、資料を活 るなどの活動 な社会の実現	3	授業週	
前期 モデルコ 分類	2ndQ アカリキ 自然科学 人科学	3週 4週 5週 7週 8週 9週 11 12 13 14 15 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16	週 週 週 週 週 月 カ ラエーン 社 技(知会) が カ	大現科科科春水地原原科テ到ふ学 サゲイ 倫薩守能お学代学学学保球子子学 一達り習 イエー・埋、性よ	上科学の発展 対会と現代社会 支術とは現代(1) 支術とは一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には	(平川) 「「中川) 「「中川) 「中川) (平川) (平川) (平川) (平川) 一(平川) 一 (平川) 一 (平川) 一 (平川) 一 (平川) 一 (平川) 一 (平川) 一 (河村) 四 科学技術社会論② 一 (河村) 四 科学技術社会論② 一 (河村) 四 科学技術社会論② 一 (河村) 四 科学技術社会論② 一 (河村) 四 村) 四 日 標 一 (ア の) 日 に の い 世 文 と の に こ の 、	(河村) (河村) (河村) (河村) (河村) (河村) (河村) (河村)	ついて説明でき は主題を設定さい うけきしたに できるできる。 ジメントなど、 きる。 自ら専門とす	世、資料を活るなどの活動な社会の実現技術者の行動る工学分野に	3 3	授業週	

					社会における技術				3		
					環境問題の現状についての基本的な事項について把握し、科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響を説明できる。				-		
					環境問題を考慮し 明できる。	て、技術者としてふ	いさわしい行動とは	何かを説	3		
					国際社会におけるき	技術者としてふされ	つしい行動とは何か	を説明で	3		
					過疎化、少子化な に貢献するために	ど地方が抱える問題 科学技術が果たせる	風について認識し、 る役割について説明	地域社会 できる。	3		
					技術者の社会的責何時(コンプライア	任、社会規範や法令 'ンス)の重要性につ	合を守ること、企業 いて説明できる。	内の法令	3		
					技術者を目指す者として、諸外国の文化・慣習などを尊重し、それぞれの国や地域に適用される関係法令を守ることの重要性を把握している。				3		
					全ての人々が将来 実現するために、 明できる。						
					技術者を目指す者 資源の維持、災害 くことの重要性を	として、平和の構築 の防止などの課題に 認識している。	を、異文化理解の推 こ力を合わせて取り	進、自然	3		
					科学技術が社会に を説明できる。	与えてきた影響をも	らとに、技術者の役	割や責任	3		
					科学者や技術者が、 した姿を通し、技	、様々な困難を克朋 析者の使命・重要性			3		
				向態度・志向	法令やルールを遵守した行動をとれる。				3		
分野横断的					他者のおかれている状況に配慮した行動がとれる。				3		
能力	性(人間力)		性 	性 	技術が社会や自然に及ぼす影響や効果を認識し、技術者が社会に負っている責任を挙げることができる。				3		
評価割合											
		試験		発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	2	 計	
総合評価割合		100		0	0	0	0	0	1	.00	
基礎的能力		100		0	0	0	0	0	1	.00	
専門的能力		0		0	0	0	0	0	C		
分野横断的能	力	0		0	0	0	0	0	c)	